



奈良岡忠一さん
(西大館)

のは、これでもかこれでもかっ
ていうPRが必要で、次々とや
らないと、池に落した小石の波
紋のように広がっていかないん
ですよ。

武田 好みだと思っんですけど、
きりたんぼでも、みそ付けたん
ぼでも、十和田あたりで売って



武田 卓明さん
(上町)

るのはとても食べられないね。
これがきりたんぼだと言って全
国的に有名な所で売られると困
るんですよ。

奈良岡 今ね、栃木県の日光の
江戸村ってあるでしょ。あそこ
へ行くと、やっぱりきりたん
ぼだと言って売ってるんですよ。
みそ付けたんぼをですよ。イメ
ージダウンもいいところだと思っ
てね。

武田 なんでもきりたんぼの格
好してれば、それできりたんぼだ
と言っていいんでしょうかね。

『今年はものゝを
育てる年』

市長 平成五年は、大館を支え
てきた三つの産業がいずれも大
打撃を受けた年なんです。三
つが何かと言え、農業でしょ、
林業でしょ、鉱工業、この三つ
が支えてただけだ……。

平成六年は厳しい状況の中か
ら、伸ばしていくもの、例えば、
きりたんぼ一つをとっても、こ
れは農業にも関係してくる、製
造業にも関係してくる、それか
ら観光PRにもなります。そう
いうものを育てていく年にした
いと思ってるんです。

小畑 大分県では、一村一品運
動をやって、あれから盛り返し
たんですよ。農業に従事して
る人たちがすごく潤って、全然
生活が違って来たんですよ。も
うちょっと大館人として頑張ら
なければと思っっています。

奈良岡 そうですね。私も東京
で経験したけれども、郵政省へ
各村一品ずつ品物持ってきて、
「これだけやっています、これだけ
やっています」って、すごいパワー
のある所だと思っただけ。

市長 無い物ねだりじゃなくて、
今あるものを育てていく年にし
たいですね。

『農業に新しい芽』

に、山館で農業集落排水が始
まったこともあるけど、それに
呼応してか、農村部でいくつか
の動きがでてきたわけですよ。
真中でミニ総合パイロット事業
が始まって、これが真中地区だ
けでだいたい三十億か四十億の
事業になると思っています。雪沢
では中山間地域農村活性化整備事
業が決まりました。山館の排水
村の生活環境整備の「芽」が出
てきたわけです。

農業に関しては、何人かの
に土地を預けて圃場を二十畝と
か三十畝とかの規模にし、法人
化すれば、生産費がものすごく
低減すると思うんです。それか
らハウス、農業も気候に左右さ
れないものに変えていく必要が
あると思います。

一月に完成予定の地域種苗セ
ンター、そして大館ファーム、
つまり豚工場が今できるわけだ
けど、大規模規格化して、そう
いったものを集落ごとに配置し
ていくこともできるようになっ
てきました。いわゆる新集落農
場化の芽がでてきたわけです。



藤原 信雄さん
(山館)

藤原 私たちの世代のものと下
の若い人を育てるビジョンはな
いのですか。

市長 法人化するなかで、本当
におれは農業をやるんだという
人に十分働いてもらえるような
基盤を作っていくかと思ってい
ます。家族労働の犠牲のもとに
やっている農業では長く続かな
いと思います。

それから、もうかる農業にし
ていかなければ意味がないと
思っています。収入が二千万円、
三千万円という農家を目標して
やってみませんか。

小畑 ただハウスをやってくだ
けでなくて、給食
のこともあるし、
取れたものを加工
してやっていく必
要がないのかなと
思うんですけど。

市長 地元で取れ
たものをよそに
買ってくれという
前に、大館で給食
をやるなら、大館
で取れた物で子供
たちに全部食べさ
せてやれるという
くらいでないか
だからまずみんな
でちゃんと作りま
しょうよ。まずそ
こからスタートし
ないかね。

今、ハウスは五万円出してい
ただければ建つんですよ。豚工
場がうまくいけば、その堆肥も
使えるようになるし。年間を通
してやっていけるものにしてい
かないかね。一生懸命基盤を整
備するから、若い人たちにはと
にかく徹底的にやってもらいた
い、そう思います。

『若者をターゲットに』

渡邊 若い人たちが遊びとい
うものを欲していると思うん
です。若者たちが集えるようなもの
が欲しいと思います。それから、
能代にあるようなプラネタリウ

